

第2学年〇組 学級活動学習指導案

- 1 題材名 〇〇中、輝き大作戦！
「オ 望ましい人間関係の形成」

2 題材について

(1) 生徒観

本学級の生徒は、大変素直で、決まったことにはきちんと従うことができる。その反面、自らが率先して意見を述べたり、集団をまとめようとしたりする場面はあまり見られない。せっかくだれかがまとめ役を引き受けても、周囲が協力しようという雰囲気にならないこともある。そのため、教師からの指示がないときは、だれもリードせずに全員が行動しなかつたり、人に合わせて、一斉に同じ行動してしまつたりすることもある。話し合い活動では、発言を控え、人任せにしたり、安易に他の意見に同調したりする様子が目立った。

Q-U検査を見ると、ほとんどの生徒が学級生活に適応し、満足している結果となっている。しかし、初めのうちは、責任感がうすく、まとまりのない学級に感じられていた。しかし、9月に行つた宿泊訓練では、リーダーの責任感とそれに協力する気持ちが学級全体に感じられ、生徒の自治的な運営が確立されていくのを感じた。この経験を糧に、大きく変化し、それを継続していくことを期待したい。

共通の学級内の課題を話し合い、課題解決のために目標を立て、学級全体で一緒に行動したり、共通の目標のために、個々の生徒が目標を立て前向きに取り組んだりすることで、生徒の学級への所属意識を高めることができると思われる。

(2) 題材観

学校生活で生徒たちが学ぶことは集団生活だと考える。集団だからこそがんばれるし、集団だからこそ、手拔きが生じることもある。集団で過ごすからこそ、はたらく力のベクトルをよい方向に向けていく必要がある。〇〇中学校では先輩が学校行事などで、上級生がリーダーシップを発揮し、雰囲気を盛り上げていた。活気のある学校の雰囲気をつくるためには、2年生が「よき先輩」となってほしいと思う。生徒会選挙を控え、自分たちが〇〇中学校を率いる立場になる。本題材を生徒の自治的な話し合いにより解決に導くことは、題材を自分たちの問題として共有化し、今後の学級生活を更に豊かにしていこうとする意欲につながる好ましい題材であると考えた。

(3) 指導観

ア 話し合い活動を取り入れる意義

指導に当たっては、本題材を自分たちの問題として共有化し、自治的な話し合いにより解決に導くために、話し合い活動の形態を取りたい。また、話し合い活動の形態を取ることで、学級の諸問題を自分で見付け解決しようとする意欲を高めたい。さらに話し合い活動の形態では、友達の考えを最後まで聞き尊重しようとする態度や、めあてを意識しながら自分の考えを整理したり、考えを分りやすく伝えたりしようとする態度も育てられると考えられる。

イ 事前指導

話し合いの柱を事前に知らせ、生徒に前もって考えをもたせておくことで、本時の話し合いに全員が参加できるようにしたい。同時に、話し合いカードに意見を書かせることで、学級担任が事前に学級の実態をとらえることにより、本時での助言・援助に生かせるよう配慮したい。

「先輩がいることのよさ」について学級内で話合ふことができるようにするために、「先輩として後輩にどんな影響を与えているか」事前に考えさせたい。本題材について自分や学級を見つめたり、気付いたりする期間を設ける。

ウ 本時の指導

本時の指導に当たっては、まず今の自分や学級を振り返る時間を設けることで、実態を共有化する。また、先輩としての自覚・活動に関する問題意識をもたせたい。

次に先輩の存在意義を考えさせる。そのことで自分だけでなく、学級のみならず自分たちの学年に先輩としての自覚が必要だと思つているという安心感をもたせたい。また、友達の意見を聞くことによって価値を高めるとともに学校生活を支えたり、引っ張ったりする活動の必要性に対する視野を広げたい。

そして解決策を発表させる。知恵を出し合うことで、自分の考えだけでなく友達の考えを参考

にすることができるようにするとともに、自分のめあてを考える際に、自分に合った方法を友達の考えからも選べるようにする。最後に行動のめあてを掲示したり、宣言をさせたりすることで実践への意欲を高めさせる。そのことで実践活動を行う際に声を掛けながら励まし合えるようにしたい。

エ 事後指導

本題材では実践活動について掲示し、学級の生徒に自分のがんばったことが見えるようにしておくことで、実践への意欲をさらに高めたい。また、友達のがんばりに目を向けることで、2年生としての意識をもたせたい。本題材で、中学校生活における先輩の役割についてしっかりと見つけさせることを通して、よき先輩であろうとすることの価値を感じさせたい。生徒会長選挙へ立候補する生徒や、選挙活動への意欲、それに対する学級からの協力、これからの生徒会活動についてもしっかりとつなげていきたい。

3 題材の目標

学級全体で〇〇中学校をよくすることを考える中で、よき先輩集団となる自覚をもち、今の自分や学級の実態を踏まえ、継続して取り組めるような自分のめあてを決めるとともに、問題解決のために自己決定した自分のめあてを守るよう努力することができる。

4 指導計画（*提→提案者，司→司会グループ）

| | 全体の流れ | 活動のための支援 | 評価 |
|---------|--|---|--|
| 事前活動 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 「よき先輩」についてのアンケート調査（全員） ○ 題材決定（提案者） 「〇〇中、輝き大作戦！」 ○ 「自分の先輩としての実態」に関して学級の実態を把握する。 【第1回計画委員会（提・司）】 ・ 題材名の工夫と活動計画の作成 ・ 役割分担 【第2回計画委員会（司）】 ・ 話合いのめあて，柱を決める。 柱1 今の様子 柱2 必要性 柱3 解決策 ○ 活動計画表（原案）の配布。 【第3回計画委員会（司）】 ・ 話合い活動の準備と打ち合せ。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 「よき先輩とは」について学級会で話し合うことを知らせる。 ・ 提案者の思いを入れるために，計画委員と学級担任と一緒に考え，助言する。 ・ クラスの実態を報告するためのアンケートをまとめる。 ・ 計画委員と学級担任と一緒にめあてと小柱を考える。何のための話合いかを提案理由を元に生徒と一緒に考え，話合いのめあてに生かすように助言する。 ・ 事前に原案を配布し，自分の考えをもたせておくことで話合いに意欲的に臨めるようにする。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 〇〇中学校をよくすることに関心をもち，よき先輩集団となるために自分の考えをもととする。 【関心・意欲・態度】 |
| 話合い | <ul style="list-style-type: none"> ○ 話合い活動（1／1，本時） 「2年生がよき先輩集団になるにはどうすればいいか，みんなで考えよう。」 ○ 話合い活動の後に決めためあてを書く（自己決定）。 | | <ul style="list-style-type: none"> ・ 〇〇中が輝き続けるために自分ができるめあてを決めることができる。【思考・判断・実践】 |
| 実践・振り返り | <ul style="list-style-type: none"> 11月6日から自分のめあてや学級で決めたことを実践していく。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ めあてを意識して実践させるため，書かれた自分のめあてを教室に掲示する。 ・ 自己決定をしたことを基に個人として努力し目標の実現を目指した成果について振り返り，評価させる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 後輩に対してよき先輩集団であることの大切さを理解することができる。【知識・理解】 |

5 本時について

(1) 本時の目標

よき先輩としての行動について話し合うことで，後輩によい影響を与え，よりよい学校生活を送ることができるように，今の自分や学級の実態を踏まえ継続して取り組めるような自分のめあてを決めることができるとともに，問題解決のために自己決定した自分のめあてを守るよう努力することができる。【思考・判断・実践】

(2) 本時の展開

| <p>題材</p> | <p>2年生がよき先輩集団になるにはどうすればいいか、みんなで考えよう。</p> | |
|------------------------|--|---|
| <p>提案理由</p> | <p>僕たち2年生は、生徒会長選挙を間近に控えていますね。選挙が何日にあるか知っていますか？もうすぐ僕たち2年生が〇〇中を動かす立場になるということです。そこで、今日はこれまでの自分たちを振り返り、今後の学級や〇〇中学校の活動がよりよいものになるよう、話し合いをもちたいので提案しました。</p> | |
| <p>話し合いのめあて</p> | <ul style="list-style-type: none"> • それぞれが決めた話し合いのめあてを達成しよう。 • 発表する人、聞く人お互い向き合っって気持ちの入った話し合いをしよう。 | |
| <p>時間</p> | <p>話し合いの順序</p> | <p>指導上の留意点（◆は本時の評価）</p> |
| <p>3分</p> | <ol style="list-style-type: none"> 1 はじめの言葉 2 司会グループの紹介 3 題材と提案理由、話し合いのめあての確かめ | <ul style="list-style-type: none"> • 自分たちが〇〇中の中心的な立場となる時期に差しかかっていることを伝える。 • めあてを意識して話し合いに臨むようにさせる。 |
| <p>6分</p> | <p>4 話し合い</p> <p>柱1 「先輩として（自分は、2年生は）後輩にどんな影響を与えているか。」</p> | <ul style="list-style-type: none"> • 自分たちの現状を振り返り、先輩として足りない部分があることを自覚させる。 • 事前に準備させた意見を発言させる。 |
| <p>15分</p> | <p>柱2 「先輩がいることのよさって何だろう。」</p> | <ul style="list-style-type: none"> • これまで、先輩の頑張りを見て後輩が成長してきたことに気付かせ、上級生の頑張りが学校活動を支えていることに気付かせる。 • 先輩がいて助かった場面、先輩が頑張っている姿を想起させ、発言を促す。 |
| <p>13分</p> | <p>柱3 「〇〇中が輝き続けるため、2年生が今後できることを考えよう。」</p> | <ul style="list-style-type: none"> • 柱2で出た意見を踏まえて考え、カードに記入し、それを発表させる。 |
| <p>13分</p> | <ol style="list-style-type: none"> 5 決まったことの確認 6 話し合いの気付き・自分のめあて ○ 「後輩の憧れ・お手本になれるよう、自分の具体的な行動目標を立てよう。」 <p>○ 振り返りカードに記入後、発表</p> <ol style="list-style-type: none"> 7 ピカール賞の発表 8 先生の話 9 終わりの言葉 | <ul style="list-style-type: none"> • 上から率いるような方法だけでなく、底から生活態度を支えていくような活動も称賛する。 <div style="border: 2px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>◆ 今の自分や学級の実態を踏まえ継続して取り組むことができるようなめあてを話し合い、振り返りカードに記入することができる。【思考・判断・実践】(カード)</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> • 議長団も目標を立てる。 • 話し合いの評価（よかったところ、改善が必要なところ） • 生徒会改選に触れ、学校活動の中心的な存在となる自覚をもたせる |